

たんぽぽ

NO 4
 S62.9.25
 一発行一
 〒869-12
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 TEL096
 293-8100

一人、一人

理事長 田中 稔

今年、梅雨がスカッと終わらず蒸し暑い日がダラダラと続いています。

8月から自閉症及び自閉性精神遅滞という診断名を持っておられる方以外の方の入園が始まりました。

現在、自閉症の診断にあたっては決め手となる生理学的、病理学的なものは今のところありません。従って診断は症候群として異常行動のパターンを列記することでせざるをえないということになってきているようです。

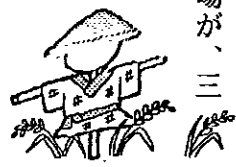
しかも、一人、一人現れている障害像が異なっています。その上、3・4歳頃診断がなされたとすれば成人施設へ入園される10数年の

間にその子がどのような環境、状況、薬の使用等のもとにあったかが、さらに一人、一人の異なりを大きくしてしまっています。

だとすれば、自閉症という診断名より現在の一人、一人の現況を良く見て、一人一人に良く考えられ、検討された、可能な目標を設定し、療育していくことのほうがはるかに大きな意味を持っていることとなります。

他の障害名を持っておられる方も一人の人間として考えていくということでは全く同じです。

要は一人、一人です。その一人一人が助け合って、力を出し合っていく生活の場が、三気の里です。



「淋しくなった食堂」



最近、食堂がとっても静かで淋しいなと思うときがあります。というのは、七月頃までは、食事の三十分〜一時間位には園生が集まって来て、出来上がった料理を並べた棚の前を行ったり来たり立ち止まったりしてのぞき込んでいました。そして、厨房の私達のすきをねらって、今にもおかずを取って口に入れてしまいそうでした。だから、私達は食事の準備にかかりながらも園生にも注意を払い、いつも、「音楽はまだよ」とか「座って待ってなさい」など声をかけていました。しかし、最近では早くから食堂に集まることもおかずがなくなることも減ってきました。喜ばしいことですが食事前になって園生の姿がないのも淋しいものだなあと複雑な気持ちでいます。

(興呂木)

週末帰宅

園長・土井尚典

A君が月曜日の午前中にお母さんと一緒に帰ってきました。いつもは園に着くと、お母さんを放っておいて園の中にはいってしまいます。しかし、今日はお母さんの手をギュッと握って離そうとしません。そしてお母さんの手を引いて玄関から外へ行くこうとします。家に帰りたい様子です。顔は今にも泣き出しそうです。施設生活の長かったA君にも家の良さやお母さんの温かさが思い出されて来たのでしよう。職員は口々に喜びを伝え合いました。

B君が土曜日の午後ポストンバッグを抱えて玄関に座っています。お母さんは少し遅れてくることを伝えても待っています。駐車場へも行ってみえます。自分の部屋にも行ってみえます。家に帰るときの用意は万全かとカバンの中もチェックします。チェックする度にカバンの中身が増えていきます。お母さん

が来た時にはカバンの中には運動靴、長靴まで入っていました。そして一方の手にはタオルケットともう一つバッグがありました。

C君は自分の衣類をほとんど全部破いてしまいました。お母さんは迎えに来た日、おこつて今日は連れて帰らないといつて帰ってしまいました。実は指導員と打ち合わせをします。本人はニコニコしながらバイバイをしました。お母さんにはこちらの方がショックでした。一時間過ぎたころ園内に一人も友達が居ないのに気がつきました。一生懸命お母さんを探しましたが見つかりません。とうとう泣き出してしまいました。その頃お母さんから様子を伺う電話が入っていました。一時間後お母さんを見つけた時は満面の笑顔でした。その後「今のところ」服破りはやめています。

週末帰宅は三気の里では大事な訓練の一つとして位置づけています。人との付き合いの下手な園生

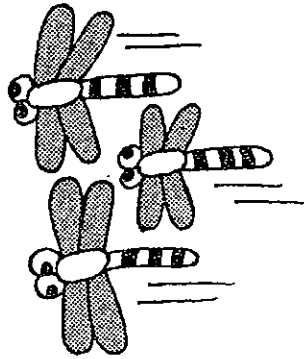
にとつてニコニコしながら迎えに来たお母さんの顔を見て身体中で喜びを表現します。自分だけのお母さんだとばかりにしっかりとつかまえてしまいます。人を期待して待つことの喜びでしょう。

帰宅した園生にとつて家での居場所があります。施設生活の長い園生はいつのまにか家の中に自分の居場所がなくなっています。

しかし、何度か週末帰宅を繰り返しているとな家での居場所を見つけ帰宅が待ち遠しくなります。家ほど良いところはないとわかります。当たり前のことですけど。

園生は自分で家に帰りたいと言えず、自分で帰ることはできません。親が迎えに来てくれるのをジッと待つだけです。自宅から入園してきた園生は一週間は長い日々です。家でリフレッシュして、「さあもう一週間頑張るか」とやって





来ます。帰宅日が近付くと時計の針を早くまわすことを考えます。

一日の日課をサッサと自分でやってしまいます。まるで魔法のように自分で考えて行動することの苦手な園生がスイスイ、サッサとやる訳です。帰宅の力の大きさです。週末帰宅をする回数が増えて来ているのは有り難いことです。

D君がもしも言葉を言えたら、「家に帰らないのが当たり前じゃないよ。家に帰って当たり前にしてよ、だってお父さん、お母さん大好きなもの」と言うかもしれない。

夏祭り

園本 寅雄

夏祭りの実行委員の依頼を受けたのは六月の頃でした。

それから二回、園からの原案をもとに話し合いがもたれました。

最初の話し合いのとき私は「ヨーヨーつり」の係りになりました。「ヨーヨーつり」聞いたようなことばだがみたことがない。夜店にでているとのこと。

数日後、新聞のちらしに目がつきました。「土曜夜市ヨーヨーつり」寿屋鏡店二階。見に行きました。水槽に浮かんだ色とりどりの風船の玉、紙のこよりの先についた針で風船をつる。これがヨーヨーつりか……。係りのアルバイト生は数年前の教え子で、工専に行っているK君でしたので話が出来ました。

その後、店の係りの人にわけを話してヨーヨーの材料を注文しました。相談してみますとのことでしたが「百個ぐらいならあげましょう。使って下さい。」と連絡を受

けました。風船への水の入れ方、結び方など店の人が教えてくれました。ポンプも貸してくれるとの事、親切と好意がありました。

夏祭りの当日は、雨が降り、少し風が強かった。テント張り、各分担の仕事がはじまった。みんなの共同作業でみるみるうちに会場や店ができた。

園生もステージの前のゴザに集まった。先生の誘導に集団からはずれる者もなく座った。案外静かにしていた。

食券がよかった。いろいろ御馳走になった。味がよくておいしかった。

後では天候もよくなり夏祭りを落ち着きとくつろぎを感じながら終わることができました。職員の方々は計画、準備、園生の世話、指導等で御苦労が多かったと思います。

夏祭りを通して、職員、親同志の協力、相互のあたたかいふれあいを感じました。

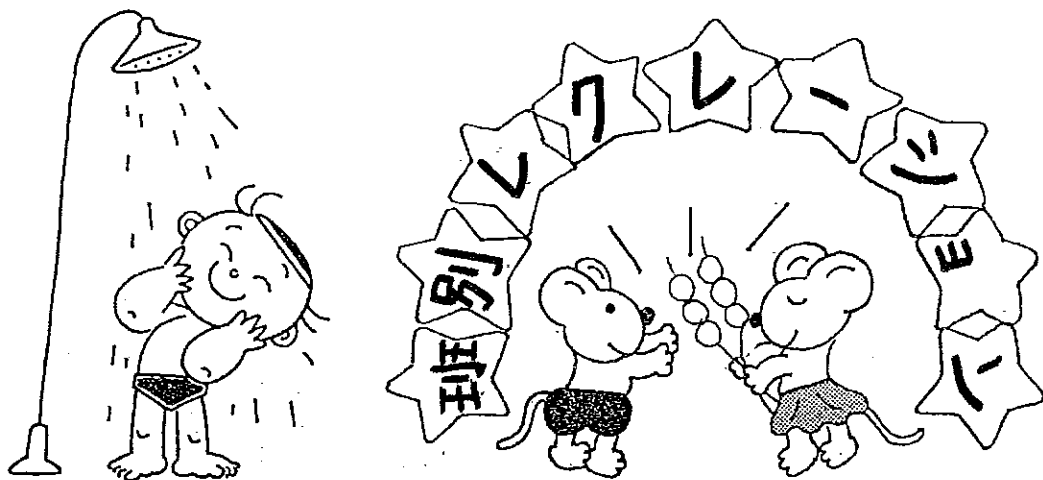
みなさん、御苦労様でした。

楽しかった だんご作り

去る9月3日に一班は食堂でみたらしだんごを作りました。
その前日、職員が3人集まり何をしたものと考え悩んだ揚げ句おだんごを作ろうということになったのでした。

さて、その当日、みんなエプロン姿に身をかため、おだんご作りに、さあ挑戦！。思ったよりきれいに上手にできました。タケちゃんのエプロン姿の似合うこと、喫茶店のマスターみたいでとてもカッコよかったよ！

おだんごの形は大きいのやら円盤やら三角、四角、大小さまざまのものができました。夕食のときみんなに配り大好評でした。コウちゃんの「おだんご、もうおしまい」というおかわりのさいそくまででたという、日本一のおだんごでした。



9月2日 水曜日

農耕班こと第4班はボランティアの恩返しができるかな？という不安を胸に熊本天使園へ奉仕作業に出掛けました。

職員の不安をよそに子どもたちはお弁当を持ってピクニック気分！

しかし、ただ一人、車にのる前から軍手をしてはりきっていたのはかずひさくん。えらい！！

いざ天使園につき「みんな並んで！」の声かけに皆は話が違うという顔つきで、ウロウロ

「作業はじめます」のあいさつのあと除草が始まりみんなは自分のできる仕事を始めました。

カマを持ったのはやっちゃん、のりくん、ただおくん

一輪車を持ったのは はじめくん、まーchan、かつきchan、かずひさくん

コンテナを持ったのは ふみchanとおねえさん

成せば成るをモットーに、13名力を合わせ頑張りました。

天使園の皆さん お世話になりました。！

おわり

9月9日 2班は、夏を惜しむ様にプールへでかけました

前日、皆プールに行けるということで作業も大変頑張り、夜は興奮して、なかなか眠れなかったようです。さて、プールではさぞや喜びの声が上がると思いきやとても静かな静かなプールでした。

第1コース 牛島くん、水を恐がり指導員にしっかりとつかまり頭を絶対水につけないようにしていました。

第2コース 国本くん、60cm以上の深さに対しては、プールに入ろうとしなかった。浅いプールに足をつけるだけだったけれど最後の方ではスベリ台で遊んでいました。

第3コース 有馬くん、プールサイドを走り回り陸上競技をしていたね！でも最後にはやっと足先で水をピチャピチャしていました。

第4コース 元田くん、唯一我が2班で水泳を楽しみ園長と競争し、あと少しのところまで力をつきました。しゅうちゃん、おしかったね

第5コース 橋村くん、プールの中で泳ごうと足をばたばた、指導員が手を離すと沈んでしまいかわいそう手を離した指導員は誰だ！

第6コース 井手上くん、水中でもエヘへと笑う強者、上手な泳ぎと思いきやプールを走っていたのだった。

第7コース 安部くん、水の中を元気に走り回り笑顔が豊かでした。手をひらひらさせる歩きかた、何歩きかな？

第8コース 金森くん、水につかること10分間、後はプールサイドをウロウロ、中庭での水遊びを一番喜んでいた君なのにどうしたのかな？

第9コース 神沢さん、園の中でも笑いの絶えない人です、プールでも一番笑って楽しんでいましたよね。

第10コース 那須さん、入園して間がなったけれど皆とプールに行っ少しは慣れてもらえたかな、プールの中を何周も歩いてごくろうさまでした。

以上をもって、2班のプール珍道中を終わります。

チャンチャン！！

三班・外作業班

僕達6人は、ASPAのプールにでかけました。2回目だけど、今度はお弁当持参で行きました。前回、怪我のため欠席していたケイゾウ君は、初めから最後まで元気よく流れにのって泳ぎ、シンちゃんは、流れよりも速くどどん泳いで、ケイちゃんも指導員のお姉さんにつかまりっぱなしで、ガタガタ震えっぱなしだったけど、ずっと流れにのっていました。ヨーちゃんは、深さ60cmのプールの赤いすべり台がお気に入り、ずっとそこに入っていました。けんちゃんは、プールで泳ぐのが大好きで、どどん泳いで行き、この日は、いつにもまして、目がキラキラ輝いていました。のりちゃんは、何が悲しいのかプールサイド泣いていたけれど、その日はSさんの誕生日でみんなアイスクリームで乾杯するころには、みんなルンルンで、ASPAをでました。そしてテクノポリスを見学して、三気の里へ帰ってきました。

ボランティアのお姉さん、楽しい一日を有り難う。

施設実習を終えて

新居 葉子

施設実習をするのは、この「三気の里」が初めてということもあり園生たちに出会った時はすごく驚きました。たんぼぼの部屋に入った時、部屋の隅に縮こまって座っていたケンちゃん、自分のおなかを何回もポンポンたたくけいぞうくん、カセットテープを聞いて踊っている、ようちゃんたちがいる中で、どの場所に私は行けばいいのだろうかと真剣に悩みました。しかし、時間がたちほとんどの園生たちと仲良しになれて最後の実習日は離れたくないという気持ちで一杯で、今もてっちゃんやかずちゃん、こうちゃん達のことを思い出しては施設実習での日々に浸っている始末です。たった三日間でしたが、うれしかったこと感動したことが山ほどありました。歯みがきを拒否するしげちゃんが歯ブラシを持ってくれた時はうれしさのあまり、私より年上なのに頭をよしよしと撫でてしまいました。ま

だ沢山ありますが書くより、お話の方がどちらかというと良いので止めておきます。

三日間は短かったなあと後になって思いましたが、八月の夏祭りお手伝いがてら伺いたいと思っていきますのでその時ははよろしくお願いします。本当に楽しい三日間でした。

(七月記)

ポランティアに参加して

県立保育大学二年

松野 信枝

私は、三気の里で実習させていただき、その後夏祭り、水泳にポランティアとして参加させていただきました。というより、遊んでしまいました。ポランティアらしき事は何一つ出来ずただただはしゃいでいました。三気の里に行く度に思うのですが、職員の皆さんや園生のお友達はとても明るくて、私の方も気負いすることなく自然に行動できてとても嬉しいです。偏に、

快く受け入れて下さる三気の里のみなさんのお陰です。

9月9日は、2班のお友達と、10日は3班のお友達と水泳に行きました。浅いプールで遊んだり、すべり台をすべったり、魚のように上手に泳いだり、皆とても個性的でとても楽しかったです。特に水泳後のジュースは、皆満足そうでした。良かったですね。3班の皆とは、一日ドライブで水泳の後、アイスクリームとお弁当(とてもおいしかったです。Sちゃんはおどんを食べ、いつもたべないNちゃんは全部食べました。)を食べ、テクノポリスで科学に親しむ、というより思いっきり涼んで、エレベーターでYちゃんは遊びました。とても楽しくて有意義な2日間でした。又、遊びに行っているのですか?



続ボランティアに

参加して

天使園 堀本博寿

夏休みの内の四日間、僕は「三気の里」にボランティアのようなものをしました。

自己紹介をするときにはみんながわめいたり大声を出したりしていたことがまず最初にびっくりしました。そして、昼食中みんな混じって食べましたが自分の嫌いな物を人の皿にポイとやったり、人の食べ物ヒョイと取って自分の皿に入れてしまうのはあつけないとられてしまいましたア然としていました。

三気の里で印象深かった事は、夏祭りの始まる前に、三気の里の人の母親が来たらしくその子供がとてもはしゃいでものすごい勢いで部屋の中に突っ走っていききました。僕は「よかったなあー」と思いながら見ていました。だけどそれから2・3分もしないうちに「ガチャン！」と窓が割れる音がしました。さっきの人がぶつかっ

て手を切っていました。なんだか悲しく感じました。

夏祭りはとても楽しかったです。こんな事言っているのか分からなけれど、「大きな幼児」がステージに上がって劇などをするのはセリフは少し聞きづらかったけれど、けっこう楽しませてもらえました。昼食は食券をもらってかき氷やおにぎり、焼きいかなど、正直に言えば最初のうちは「これくらいでお腹いっぱいになるのだろうか」と思っていたけれど、いざ食べてみると味もいけるし、お腹もちょうどいいくらいでした。午後にもゲームなどをして盛り上がりました。全体的にみて、今回の夏祭りは成功に終わったように思いました。でも、今回、一番楽しんだのは情けない話ですが主役ではなく、脇役の僕達だったような気がしません。

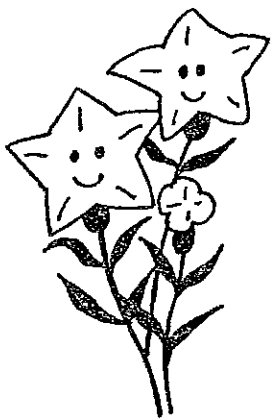
これは提案なんだけど、「夏祭り」というくらいだから、今回のように昼過ぎに終わりではなくて夜まで使った方が好いと思います。

今回は帰省などの事もあり昼過ぎで終わりだったのでしようか。

僕達が今回した作業は「ステージ作り」で3年がかりで完成させる予定だそうです。出来上がるまでは大変だけど、出来上がれば、みんなが楽しむ事が出来るので、3年のうちに出来るだけ早く完成させたいものです。

今思えば、最初着いた時には、どうなることやらととても心配でした。でも2回目に来る頃には1回目よりもずいぶん平気になりました。そしてあの叫び声も平気になったと言えぱうそになるけれど、あまり大きくなければ「ビクッ」とすることもなくなりました。

最後に、園長先生をはじめその他の先生方も大変御苦労ですが体には気を配って三気の里のみんなを幸せにしてあげてください。



10月行事予定

- 10月1日農耕班・園外レク
- 7日体重測定
- 8日清掃班・園外レク
動作訓練研究会・午後7時～
- 9日保護者会午後1時半～
月例帰宅訓練3時開始
- 12日 10月誕生会
- 15日洗濯班・園外レク
防災・非難訓練
- 22日外作業班・レク
動作訓練研究会・午後7時～
- 27日大掃除
- 30日バス・ハイキング
グリーンピア南阿蘇・テクノポリス
ボランティア大募集!

お礼

日用品、教材、教具などの御寄付を頂き、有り難うございました。いつも大切に使用させて頂いております。

ボランティアさんありがとう

三気の里に、ボランティアとして、参加して下さった皆さん、本当に有り難うございました。園生、職員共々、皆様のご協力に感謝しています。またの機会がありましたらよろしくお願ひします。

編集後記

皆様のご協力のおかげで、夏祭り夏季帰宅訓練を無事、実行することができ、又、皆様に報告できて、とてもうれしく思います。今後とも、宜しくお願ひ致します。

ボランティア

大昔券集

三気の里では、ボランティアを募集しております。発達障害の人達に関心のある方、園生とともに遊んで下さる方、園生のため環境づくりを手伝って下さる方、是非来園下さい。特に木曜日、日曜日の外出に付き添って頂ける方よろしくお願ひします。

後援会・新会員紹介

- 大村 桂子・池永ユキエ
 - 川島 末男・神沢 真
 - 林田 隆一・東田 昌子
 - 高橋 次郎・亀崎 文子
- 新たに、8名の方々のご協力を頂くことになりました。
本当にありがとうございます。
もっともっと人の輪が広がりますように。

お願ひ

御不用の物がございましたら、御寄付頂きたく、お願ひ申し上げます。
なべ(大・小)、座布団、カセットデッキ、ミキサー、アイロン、アイロン台、タオルおもちゃ、日曜大工道具、スキカル又はバリカン、時計掃除機、クッション、すのこ一輪車、スコップ、コンテナ、お風呂のふた、足拭きマット、物干し竿、ガスコンロ、リヤカー石鹸、シャンプー、バケツ、自転車、こたつ、こたつ布団、ソファ、歯磨き粉、ふせ布、果物ネット